

平成27年度 兵庫県立北条高等学校 学校評価報告

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	評価A	評価B	評価C	評価D	評価	部署	本年度の反省と改善策（自己分析）	学校関係者評価
開かれた学校	開かれた学校	1 家庭や地域への情報発信	学校通信を月に1回発行し、本校生徒全員と地元中学3年生および地元地域に配布し、学校の情報を提供する。また、ホームページの充実をはかり、地域に密着した情報発信に努める。	学校通信を年間10回以上発行し、生徒・保護者、市内中学生に配布し情報発信できた。また、ホームページの更新もこまめにできた。	学校通信を8回以上発行できた。	学校通信を6回以上発行できた。	学校通信を5回以下しか発行できなかった。	B	総務	学校通信は年間8回の発行であった。また、学校ホームページのリニューアルで情報発信が効率よく効果的に行えるようになり、部活動・修学旅行・国際交流等の様子もスムーズに更新し、地域に密着した情報発信ができた。今後もなお、校内の各分掌と連携を密にして、保護者や地域への情報発信に努める。	・情報発信に頑張ってください。 ・学校通信は地域へのアピールでもあるので、多く発行してほしい。 ・年8回の学校通信の発行でよいと思います。ホームページの(校長ブログ)を私もよく拝見します。ある程度の情報発信はできていると思います。 ・十分な指導がなされている。 ・内容がとても充実していて分かりやすいと思います。
		2 地域との交流	地元関係機関との連携を深め、地域の行事、地域福祉施設、地元幼稚園等との交流、ボランティア活動を積極的にに行い、内容の充実を図りつつ地域貢献に努める。	年間10回以上の交流活動やボランティア活動を行った。さらに、生徒が主体的に取り組み、地域との連携を深めることができた。	年間10回以上の交流活動やボランティア活動を行った。	年間7回以上の交流活動やボランティア活動を行った。	年間6回以下の交流活動やボランティア活動しか行えなかった。	A	総務	1年生全員と2年生北高活性化委員を対象にボランティア登録を行い、多くの生徒がボランティア活動に参加できる機会を設けた。1・2年生が無理な時は3年生の有志を募り、結果として21回の活動に約150名の生徒が参加した。生徒は地域行事や福祉施設等に入って主体的に取り組み、様々な体験をしたことで、今後も機会があればボランティア活動に参加したいという意識を多くが持つようになった。	・地域との交流は活発に行われている。 ・良いと判断している。 ・今後とも頑張ってください。ロータリークラブではお世話になりました。 ・地域のほとんどの行事に参加されています。地域の方で加西市役所の打ち合わせに参加され、北高生と話をされた方が「しっかりした高校生だし積極的な学校ですね」と感心されていました。
		3 中学校との連携	授業力向上や部活動の活性化を目指して中高連携事業を推進する。そのために中学校教員も参加する授業研究会や、中学校の運動部や文化部と本校生が合同で取り組む活動を実施する。	中学校教員による本校での授業参観を年間3回以上実施し、その後、協議会を開催できた。さらに、中学校での本校教員の授業等、連携を深めることができた。	中学校教員による本校での授業参観を年間3回以上実施でき、その後協議会を開催できた。	中学校教員による本校での授業参観を年間1回以上実施でき、その後協議会を開催できた。	中学校教員による本校での授業参観が実施できなかった。	A	教務	6教科において授業参観とその後の研究協議会を行い、その授業に対する意見の交換や、普段の学校生活の様子などの意見交換を活発に行うことが出来た。ただ、そのことが授業改善などのどのよう活かされているかの検証は行っていない。日程の都合上、市内4中学がそろわなかった教科もあつた。市外の中学からの参加も望まれる。また、いろいろな部活動で中学校と合同の活	・中学校との連携は今後よりよくお願いします。 ・野球で中学校の交流試合を行っています、他のクラブもやっていただければと希望します。 ・中学校との連携をもっと頑張ってください。 ・引き続き地道な指導、実施をお願いしたい。 ・中学校と合同の部活動は、中学生の進学動機につながる連携なのでぜひ継続していただきたいです。中学校教員との意見交換では、授業内容とさらに進学・進路も意見交換できたらと思います。
	教員の資質向上	4 実践的指導力の向上	すべての教員が授業改善に取り組む。そのために生徒による授業評価を実施し、自己の授業を客観的に見つめ、授業方法を創意工夫しながら指導力を向上させる。	全教員が年2回以上、生徒による授業評価を実施し、改善ポイントを明確にし、授業力向上に取り組んだ。	8割以上の教員が、年2回生徒による授業評価を実施し、改善ポイントを明確にし、授業力向上に取り組んだ。	9割以上の教員が、生徒による授業評価を実施し、改善ポイントを明確にし、授業力向上に取り組んだ。	改善ポイントを明確にし、授業力向上に取り組むため生徒による授業評価を実施したのが9割を越えなかった。	A	教務	年2回の授業評価のシステムも定着し全教員が、生徒による授業評価アンケートを実施し、改善ポイントを明らかにした。個々の教員が改善にむけて取り組んでいるが、アクティブ・ラーニング等、さまざまな手法について学校全体の研修を行い授業の充実を図ることが必要である。また今後も教員間の授業見学を行ったり、第三者に授業を公開することにより、指導力の向上に努める。	・今のシステム定着をますます向上させてほしい。 ・引き続き地道な指導、実施をお願いしたい。 ・よりよくお願いします。 ・良いことと思います。 ・授業改善のポイントが明確であることを評価したいと思います。
		5 生徒指導の確立	生徒指導方針を教職員で共通理解し、生徒の現状や保護者の思いを理解しながら毅然とした生徒指導を行う。	情報を共有し、共通理解のもと教職員が丸となって生徒指導にあたり、生徒・保護者に十分理解を得るなど、成果を上げた。	共通理解のもと、生徒・保護者に対して説明責任を果たし対応できた。	共通理解のもと対応できた。	十分な対応ができなかった。	B	生徒指導	教育活動、集団生活をとおして、教職員が共通理解を図り、統一した生徒への関わり、ぶれない指導の徹底を行い、生徒指導体制を構築する。節度ある生活習慣及び地域に規範となる高校生の育成に努める事がより一層必要である。また、学校、家庭、地域との連携を強化し、更に取り組んでいきたい。	・学校・家庭・地域の連携が必要。 ・いろいろな保護者がいると思いますが、私の知っている人であれば協力します。 ・ぶれない指導体制を評価します。近い将来に携帯電話の取り扱いが議論されるかも感じますが、私はぶれないで指導を続けてほしいと思います。マナーが社会問題となっています。生徒達には使わない環境(学内生活)と使ったほうが良い環境をしっかりと身につけてほしいです。明確なルール
		6 学校行事の充実	文化祭、体育大会、球技大会等の学校行事において、生徒が競い合いながら成長していけるよう教師がサポートし、充実した学校行事をつくり上げる。	生徒達がいきいきと参加し、協調性向上や自己有用感を得るなど、行事を通じて大きく成長できた。	生徒達が参加し、行事を成功させることができた。	行事を通じての生徒の成長は見られなかった。	A	生徒指導	学校行事等において、自己を表現する力や集団での仲間との連帯意識に乏しい生徒が多く、今後リーダー育成に一層の強化に努める。また、協力して課題を解決する態度や互いの個性を受け入れる心、主体的に取り組む態度を育てる。	・生徒と先生の一体感の強化が必要。 ・一般市民がたくさん見に来てくれるようPR等工夫して下さい。 ・文化祭・体育大会においては活発に活動しているように思いました。 ・大変よくできている。 ・学校行事での、いきいきとした生徒達に感心します。文化祭でのさらなる地域や社会人との交流が生徒達の経験につながると思うのでPTA協力を活用して推進していただけたらと思います。	
	生徒指導	7 いじめ対策の確立	いじめ対策チームを設置し、いじめ事案を発生させないことを目標に取り組む。被害生徒の立場を尊重し、安全・安心な学校づくりに取り組む。	いじめアンケートを年間3回以上実施するとともに、いじめ対応委員会を6回以上実施し、生徒の状況把握、対応が十分できた。また、全職員で情報共有し、共通理解のもと対応できた。その結果、生徒が安心して学校生活が送れている。	いじめの事象が少ないため、アンケートの実施が年間2回、対応委員会の実施は年間5回以下の実施にとどまったが、生徒は安心して学校生活が送れている。また、全職員の情報共有、共通理解も行われている。	アンケートの結果により、いじめ事象が少ないため、対応委員会は、必要に応じて実施したのみ。生徒は安心して学校生活が送れている。また、全職員の情報共有、共通理解も行われている。	十分な対応ができなかった。不安を抱えている生徒がいる。	A	生徒指導	いじめ実態把握に関しては、年間3回(各学期終了前)のアンケート調査を行った。3回の調査においては特に問題はない。日頃からいじめに対しては、人間として絶対に許されない行為であるという毅然とした態度で指導する。早期発見・早期対応を旨として適切な対応に努めている。	・生徒間の問題または理解の必要性が大事。 ・良かったと思います。 ・北条高校の生徒は人のいい子が多いのでこのようないじめに対しては、人間として絶対に許されない行為であるという毅然とした態度で指導する。早期発見・早期対応を旨として適切な対応に努めている。

評価の観点	評価項目	実践目標	評価A	評価B	評価C	評価D	評価	部署	本年度の反省と改善策（自己分析）	学校関係者評価	
進路指導	8 職業観・勤労観・キャリア観の深化	インターンシップ、大学見学会、職場見学会などを充実させ、社会の中での自己の役割を考えさせる中で職業観・勤労観を育成し、進路意識を向上させ	インターンシップ、大学訪問等のべ150人以上が参加するよう指導できた。	インターンシップ、大学訪問等のべ100人以上が参加するよう指導できた。	インターンシップ、大学訪問等のべ50人以上が参加するよう指導できた。	インターンシップ、大学訪問等のべ49人以下しか参加できなかった。	A	進路	インターンシップとして就業体験を2年生就職希望者を対象に実施した。職場での体験を通して勤労の「きびしさ」や「やりがい」を感じる事ができた。大学・専門学校見学を1、2年生全員に実施した。進路意識向上の一助になった。	・すべて自分の目で体験するのが大事。 ・問題ありません。 ・国立大学の推薦入試合格者が確実に増えていることは良かったといえる。 ・進路意識向上には、とても効果的だと思います。	
	9 進路実現に向けたサポート体制の確立	生徒個々の進路希望に応じた補習や個別指導、進路ガイダンスを充実させ、意欲を持った生徒の学びを支援する。	全学年において、進路講演会、ガイダンス、進路面談を計画通り実施できた。また、早朝補習・夏季補習等を積極的・計画的に実施し、学力支援が十分できた。	年間計画の9割以上を実施できた。	年間計画の8割以上を実施できた。	年間計画の8割未満しか実施できなかった。	A	進路	3年生においては進路別ガイダンス、小論文ガイダンス、1・2年は大学見学会および進路ガイダンスを行った。また、補習・面談等も計画的に行い、学習支援につながった。今後の指導についても教員のスキルアップのための研修を積極的に行い、情報を共有し、生徒の進路実現につなげていきたい。	・進路指導は計画的に行われている。 ・生徒一人一人にきめ細かい指導ができていていると思う。 ・よろしく願います。 ・社会人やOBとの連携が可能なシステムができれば、さらなるパワーアップにつながるので協力していきたいと思います。	
教育課程	基礎基本の定着	10 基礎学力の向上	授業の中で生徒が主体的に学ぼうとする態度を育て、まじめにこつこつと学習に取り組む習慣を身につけさせることで基礎学力を向上させる。	小テスト、課題演習などを計画的に取り入れ、大きな成果が得られた。	小テスト、課題演習などを計画的に取り入れ、成果が得られた。	小テスト、課題演習などを計画的に取り入れ実施できた。	小テスト、課題演習などを計画的に実施できなかった。	B	教務	各学年において、毎朝SHRでの英語や漢字等の小テストを実施できた。また、授業中には各教科小テスト実施し基礎学力の定着を図った。不合格者への指導と、毎日の学習習慣をいかに定着させるか。また、生徒自らが意欲的に取り組むための課題などを工夫していく必要がある。	・基礎学力の指導が必要であり今後も計画的に取り入れてほしい。 ・基礎学力の向上に力を入れられることは良い事です。 ・われわれの時代には、このような小テストはなかったので先生生徒も大変だと思いますが、頑張ってください。 ・地道な指導を引き続きお願いしたい。
	個に応じた学習指導の徹底	11 生徒の希望に応じた指導の徹底	生徒の進路希望や学力に応じて、きめ細かな習熟度別クラス編成・少人数指導・個別指導を推進する。	習熟度別授業、少人数指導、個別指導を積極的に実施し、大きな成果が得られた。	習熟度別授業、少人数指導、個別指導を実施し、成果が得られた。	習熟度別授業、少人数指導、個別指導を実施した。	習熟度別授業、少人数指導、個別指導を、十分に実施できなかった。	B	教務	理系を希望する生徒の減少で、文系・理系クラスができたが、生徒の希望する進路に対応する科目等が開講することができた。 数学や英語、理科で習熟度別授業を実施しており習熟度に合った授業を心掛けている。検証を数値で表すことは困難である。 3年生では、進路希望に応じた選択科目を配置し、少人数指導を含め、細かい対応ができた。	・習熟度別授業を実施し細かい対応が必要である。 ・数人の生徒が個別指導を受けていることを聞きました。よろしく願います。 ・良かったと思います。 ・習熟度別授業も高く評価します。人間創造コースとの並行で、より効果的になれば良いと思います。
		12 新学習要領もいたるべき教育課程の編成	新学習要領にもとづいた教育課程を把握し、進路実現を可能にするため、常に点検を怠らずより良い教育課程の編成を目指す。	教科会等で十分に討議を行い、毎月のカリキュラム委員会に於いて調整し編成できた。生徒の進路目標、実態に応じた教育課程が編成できた。また、新学習要領の主旨を十分に	教科会等で十分に討議を行い、毎月のカリキュラム委員会に於いて調整し編成できた。生徒の進路目標、実態に応じた教育課程が編成できた。	十分とは言えないが、目標の7割以上は織り込んで編成できた。	十分な議論がなされず、従来通りの教育課程をそのまま引き継いだ。	A	教務	現在の教育課程を点検・変更するとともに、人間創造コースの教育課程を作成した。学校設定教科・科目を設定し、コースとして特色のある教育課程を作成した。 また、大学入試の動向により、教育課程を点検、変更している。	・新学習指導要領の趣旨が十分反映されている。 ・人間創造コースに期待します。 ・人間創造コースが楽しみです。
	課題学習	人権教育	13 人権教育推進体制の組	各学年・部と連携して、体系化された人権HR指導プランを作成する。	年間計画に沿った人権教育に関するHRを実施できた。	年間計画に沿った人権教育に関するHR、講演会を9割以上実施できた。	年間計画に沿った人権教育に関するHRを8割以上実施できた。	年間計画に沿った人権教育に関するHRを8割未満しか実施できなかった。	B	人権	各学年・部と連携をとり、ほぼ年間計画に沿った人権教育を進めていくことができた。今年と同和対策審議会答申50周年の節目の年であり、同和問題を中心に据えた生徒向けの講演会と職員研修会を実施することができた。 LGBT等、人権課題がより多面的なものとなってきているので、具体的なテーマを設定して研修会を実施し、人権意識の向上を図っていく必要がある。
特色類型		14 教育の充実	教育類型について、「教育入門」「教育実践」「教育課題探求」などの特色ある科目を通して、体験活動を充実させるとともに、主体的に課題解決に取り組む姿勢を身につけさせる。	特別非常勤講師などを積極的に活用した特色ある科目を実施し、体験活動も非常に充実させることができた。	特別非常勤講師などを積極的に活用した特色ある科目を実施し、体験活動も実施できた。	特別非常勤講師などを活用した特色ある科目を実施できた。	類型の特色を活かす授業等を実施できなかった。	A	コース委	約20時間の特別非常勤講師活用講座を実施するとともに、地域の小学校への絵本の読み聞かせ、各種ボランティア活動、兵教大附属小学校の授業見学やリハビリテーションセンターの見学、進路希望によって地域の保育園児や小学生との交流活動、病院での体験活動など幅広い活動を行うことができた。	・体験活動は今後の人生においても必要である。 ・了解しました。 ・特色ある科目として積極的に実施しているのは良いと思います。 ・よろしく願います。
国際理解教育		15 国際交流の推進	交流事業を組織的に推進し、国際理解を深め、広い視野を持った生徒を育てる。また、学校行事の中で、国際交流事業の成果を全校生徒に還元していく。	タイ王国、オーストラリアとの生徒交流を積極的に進め、国際交流の成果を全校生徒に還元した。タイ王国生徒の受け入れにおいて、全校生との交流ができた。	タイ王国、オーストラリアとの生徒交流を積極的に進め、国際交流の成果を全校生徒に還元した。	タイ王国、オーストラリアとの生徒交流を積極的に進めた。	タイ王国、オーストラリアとの生徒交流を積極的に進めなかった。	A	国際交流	タイ、オーストラリアとも、生徒を派遣することができた。参加した生徒たちは非常に良い経験ができた。また相手の生徒を受け入れた時には、歓迎集会を催したり、特別な時間割を組んで対応することができ、来てくれた生徒たちはとても喜んでくれた。交流に参加した生徒だけでなく、全校生徒と関わる機会を持つことができ、非常に良い国際交流ができた。	・海外交流はまず参加し良い経験を持ってほしい。 ・良い事だと思います。 ・近隣校にない国際交流(タイ・オーストラリアへの生徒派遣)は本当に良かったと思います。 ・積極的な国際交流の推進を高く評価します。保護者には、受け入れ時の不安があるので、一つの案ですが、一般の保護者が交流を見学できる機会をつくれれば、不安も解消するのではと思います。